

## 令和 7 年度 地域連携推進会議（希望の家）議事録

|      |                                                                                                                                                                           |                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 開催日時 | 令和7年8月1日(金)      14:00～14:55                                                                                                                                              |                             |
| 開催場所 | 障害者支援施設「希望の家」地域交流室 B                                                                                                                                                      |                             |
| 出席者  | 推進委員                                                                                                                                                                      | 利用者1名、利用者家族1名、地元区長1名、民生委員1名 |
|      | 施設職員                                                                                                                                                                      | 理事長、施設長、課長2名、課長補佐1名、主任4名    |
| 欠席者  | (推進委員)行政1名                                                                                                                                                                |                             |
| 議題   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度 事業報告について</li> <li>2. 令和6年度 決算報告について</li> <li>3. 令和6年度 ヒヤリハット・事故報告について</li> <li>4. 意見交換</li> <li>5. その他(今後の予定等)</li> </ol> |                             |
| 配布資料 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次第</li> <li>2. 令和6年度「希望の家」事業報告</li> <li>3. 令和6年度「希望の家」決算報告</li> <li>4. 令和6年度ヒヤリハット・事故報告</li> </ol>                              |                             |

令和7年度 地域連携推進会議 次第  
(障害者支援施設 希望の家)

日時 令和7年8月1日(金)14時00分～

場所 希望の家:地域交流室

一. 開会

二. 理事長挨拶

三. 地域連携推進員(新任)の紹介

四. 議題

1. 令和6年度 事業報告について
2. 令和6年度 決算報告について
3. 令和6年度 ヒヤリハット・事故報告について
4. 意見交換
5. その他(今後の予定等)

(1) 令和7年度見学会の開催予定について

- ・開催日時: 令和7年 10月22日(水) 14:30～15:30
- ・場 所: 希望の家(地域交流室)
- ・HARUとの合同見学会

五. 閉会

## 【佐賀春光園理事長の挨拶（要旨）】

本日は、大変な酷暑の中、令和7年度の『地域連携推進会議』にご出席いただき、感謝申し上げます。

この『地域連携推進会議』は、地域に開かれた「入所施設」と地域との連携を図る仕組みづくりとして、今年度から設置が義務化されました。

本日は、「希望の家」の昨年度の事業報告及び決算報告、また、事業所内における昨年1年間の「ヒヤリハット」などについて、報告させていただきたいと思います。

本日の「地域連携推進会議」をとおして、開かれた施設運営を目指してまいりますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 【議題】

### I. 令和6年度 事業報告について（資料の2ページ～）

#### 1. 概要

- 本施設では6年度においても感染拡大防止策を徹底してきたことで園内感染は発生しなかった。
- 施設職員について、離職の沈静化、特定技能実習者の受入れ、職員派遣などにより職員数は充足している。
- 利用者の状況について、機能低下の進行による退所、本人希望による地域移行などで、昨年度は7名の退所者が発生した。
- 利用者の支援について、新型コロナで縮小していたイベントの再開など、利用者の楽しみを増やす取り組みを進めてきた。

#### 2. 利用状況

- (1) 利用者の年齢構成について、男性で一番多い年齢層は60～69歳（男性の約55%）、女性で一番多い年齢層は70歳以上（女性の約50%）となっている。

男女合わせた平均年齢は64.5歳で、一番多い年齢層は60～69歳（全体の約

48%) となっている。

- (2) 利用者の出身地別で一番多いのは佐賀市で、次いでみやき町、支援区分で一番多いのは「支援6」、障害原因別では脳性麻痺が一番多い。

また、手帳の取得状況では、身障手帳の取得者が一番多く、次いで身障と療育手帳を併せ持つ利用者が次点となっており、在所年数では、10年以上20年未満の方の割合が一番多い。

- (3) 6年度の退所状況は、年度当初50名の入所者が、年度途中7名の退所、新たに1名入所されたので今年の3月末で44名となっている。

### 3. 行事報告

- (1) 園内の行事は、毎週開催される「利用者集会」や「様々なクラブ活動」、毎月実施する「たまにカフェ」、「お楽しみ会」、他に避難訓練等を行っている。

年間行事は、9月の「敬老を祝う会」、10月の「3施設合同の交流会」、12月の「クリスマス会」、1月の「新春かくし芸大会」などがある。

- (2) その他の行事として、高校生や大学生の「介護実習生」の受入、「拘束・虐待」や「ケガや事故」などを防ぐための「委員会」等9つの会議、職員のスキルアップのために各種研修会への参加も行っている。

### 4. 給食業務報告

- (1) 給食は、旬の食材を取り入れた献立作成、適温給食の提供、食中毒や異物混入の防止・衛生面にも充分留意した。

- (2) 利用者代表も参加する栄養管理委員会を、年3回開催している。

- (3) 食事提供の形態は、普通食が6名（全体の14%）、一口大に加工した食事提供が16名（36%）、刻み食16名（36%）、ミキサー食6名（14%）となっている。

- (4) 給食のメニューは、『七夕・土用の丑の日・敬老の日・クリスマス・正月・ひな祭り』など、四季折々、また年中行事に合わせた『メニュー』など、バラエティに富んだものとなっている。
- (5) 昨年度実施した「嗜好調査」では、ほぼ「満足している」という意見、また、この結果をメニューの中に取り入れながら利用者の嗜好に合わせた料理を提供している。

## 5. 健康管理報告

- (1) 令和6年度の受診総数は1,257件。前年度より168件増加、また入院した利用者は19名で、その内の6名は、退院後は、医療的行為を必要とする状況になって退所された。健康面においては全体的に悪化傾向となっており、持病の悪化、身体機能の低下、加齢に伴う様々な症状の出現が受診数増加の原因となっている。
- (2) 感染に関しては、2月に風邪などの症状で発熱の方が数名同時期に発生したが、居室静養などを行うことにより、重症化や広がることもなかった。
- (3) 入所者の昨年1年間の外部医療機関の受診状況について、一番多い受診化は内科、次いで精神科、皮膚科、この3科で全体の76%となっている。

## 6. 指定特定相談支援事業報告

- (1) 「指定特定相談支援事業」については、昨年度の相談件数は、法人内3施設合わせて84名の利用者を対象とし、相談延べ件数は178件となった。

## II. 令和6年度 決算報告について

- (1) 令和6年度の決算のポイントについて、
- 希望の家事業全体の総収入の合計①は307,609,134円、総支出の合計②は282,781,273円、差し引き収支（令和6年度の余剰金）③は、24,827,861円となり、

令和5年度末支払資金残高（令和5年度から6年度に繰り越した余剰金）④に、③の単年度余剰金を積み増しして152,328,063円、これを令和6年度から7年度へ余剰金として繰り越している。

（2）『事業活動による収支』は、収入から支出を差し引いた金額は、30,653,621円となっており、令和5年度に比べて17,514,333円減額となっている。これは、収入について、報酬単価の改定や職員配置加算の増額等により「障害福祉サービス等事業収入」が前年度より増収となったが、支出について、職員増により「人件費」が前年度より増加、「事業費」も水道光熱水費や給食費の高騰により前年度に比べ支出増となったことによる。

（3）『施設整備等による収支』については、収入から支出を差し引いた金額は、7,575,760円となっており、令和5年度に比べ4,420,185円、赤字額が減っている。支出について、「希望の家」建設に伴う借入金の返済が令和5年度迄で終了したことによる。

（4）『その他活動による収支』については、収入から支出を差し引いた金額は、1,750,000円となっており、令和5年度に比べて52,600,000円増額となっている。これは、令和5年度にHARUに対して無利子貸し付けを行った分の返済が令和6年度から始まったことで収入が増となった。これに対し支出については、令和5年度にHARUに対し融資した貸付金支出が皆減となったことにより、赤字額が50,000,000円程度減少した。

（5）最終的に、昨年度の単年度の収支決算は、24,827,861円の黒字となった。

### Ⅲ. 令和6年度 ヒヤリハット・事故報告について

#### 1. ヒヤリハットについて

（1）本施設でも、利用者が転倒したり、車椅子などから滑落した場合、また、職員が気

付かないうちに利用者が傷を負っていた場合などには、発見者が「気づき・ヒヤリハット報告書」を上げ、職員間で情報共有することとしている。

- (2) 報告書では、発生した場所や内容、その原因、その場でどのような対応を取ったかについて、職員間で情報共有しながら、他の職員からも予防対策等の意見を受けながら、再発を防ぐためには、今後どのような対策を取るべきかについても纏めている。

## 2. 昨年1年間に発生したヒヤリハットについて

- (1) レベルごとに一番多いのは、レベル2（治療などの必要はないが、安全確認を要する）で、令和6年度のヒヤリハット件数162件のうちの87件（全体の54%）を占めている。次に多いのは、レベル1（実害がなかったもの）で42件（全体の26%）、次いでレベル3（施設内において、一時的な治療）が19件（全体の12%）、事故（通院）については14件（全体の8%）となっている。

### ●ヒヤリハットの発生した時間と場所の関係について、

- (1) ヒヤリハットの発生は、午前9時台と夜8時台が多くなっており、発生した場所は、居室でのヒヤリハットが一番多く、9時台では25件中7件（28%）、20時台では14件中10件（71%）となっている。

### ●ヒヤリハットの発生した時間と場所を「転倒・転落・滑落」に絞ると、

- (1) ヒヤリハットの発生は、夜8時台が突出して多くなっており、発生した場所は、居室でのヒヤリハットが一番多く、20時台では12件中8件（67%）となっている。

### ●ヒヤリハットの発生した場所と所見の関連性で見ると、

- (1) ヒヤリハットの発生した場所で一番多かったのは居室で、全体162件のうちの62件で約38%、次に多かったのがトイレで全体の14%、居室の中で発生したヒヤリハットで多かった所見は「転倒・転落・滑落」で、3つ合わせて居室内のヒヤリハットの66%を占めている。

- (2) トイレで発生したヒヤリハットが多かった所見は「転倒・転落」で、2つ合わせてトイレでのヒヤリハットの82%を占めている。

●「ハインリッヒの法則」について、

- (1) ヒヤリハットの重要性を示す法則として、**1 : 29 : 300 の法則**という「ハインリッヒの法則」があり、1件の死亡を伴うような重大事故の背後には、29件のケガなどを伴う「軽微な事故」と、300件の「ヒヤリ・ハット（未然の事故）」が潜んでいる、というものである。
- (2) 重大事故は突然起こるのではなく、小さな異常やミスが積み重なった結果として発生するという考え方であり、重大事故を防ぐには、ヒヤリ・ハットの段階で対策を講じることが重要だとされる。
- (5) 希望の家においても、「軽微な事故」と、「ヒヤリハット」の比率は法則のとおり29 : 300（1 : 10）となっており、今後も、ヒヤリハットの原因分析等を有効に活用しながら、再発防止に向けた取り組みを行っていききたい。

#### IV. 意見交換（要約）

##### 1. 利用者からの意見

###### ①【利用者】

- ・居室で、家族との面会が出来ないだろうか。部屋の整理整頓を家族にやってもらいたい時もあるし、着替えなどの衣料がこれだけで足りるだろうかと自分だけで判断できないときに、家族に見てもらいたい時もある。

###### 【利用者家族】

- ・服とか足りているのかなあ、物に不自由していないかなあと、心配になる時もある。

###### 【施設側】



- ・現段階においては、まだコロナの感染の危険性もあるので、居室においての面会は控えさせていただきたい。しかし、ホールでお願いしている面会を閉ざされた空間で行いたい場合には、時間を区切って面会室を利用させていただくことは可能である。
- ・また、衣服の状況確認や、道具などの搬入出時に居室に入られる時は、別途ご相談いただければその状況に合わせて個別に対応させて頂きたい。

## 2. 利用者家族からの意見

### ①【利用者家族】

- ・受診する際の病院は、専門医ということで選んで病院を受診しているのか。

#### 【施設側】

- ・診療科によってかかりつけの病院があったり、実績があればその病院、体調を悪くした場合などは嘱託医に見て貰ってその紹介で病院を受診する。

### ②【利用者家族】

- ・現場における具体的なヒヤリハットの事例を聞きたい。

#### 【施設側】

- ・これまで立位保持されていた利用者が機能低下で急に立てなくなり、それでも立とうとして膝から倒れたりされた時が、やはりヒヤリとする。

リハビリもやるが、本人の体の調子も関係あるので、バタッと不意を突かれた時はヒヤリとする。

- ・朝の起き上がりの時が動きが鈍くなられ、危ないときもあるので、注意を要する方については、危険な状態を予知しながら見守りを行っている。
- ・施設として、一番神経を使うのが、拘束虐待である。ベッドから落ちないように柵を付けるのも、柵の付けようによっては拘束と取られたりするので、如何に拘束することなく支援を行えないかを考えながら支援を行っている。

#### ④【利用者家族】

- ・施設には、よくやっけていただいているので、これからはお願いしますとしか、言いようがない。

### 3. 福祉に関する知見者からの意見

#### ①【民生・児童委員】

- ・特定相談の件数が年間178件と、多いように思われるが如何か？

##### 【施設側】

- ・この特定相談は、苦情等があったから相談を受けたのではなく、サービスを受けるためには、予め計画相談を定期的に受けることが必要であり、適切な支援サービスを提供するための相談である。

#### ②【民生・児童委員】

- ・ヒヤリハットの発生時期は、6月と11月に集中しているが、何か理由があるのか？

##### 【施設側】

- ・たまたま、同じ利用者のヒヤリハットが重なって、その月の件数が伸びたと考える。  
それというのも、利用者の機能低下でこれまで出来ていたことが出来なくなる境というのがあって、それがたまたまその月に発生して、利用者本人はこれまで出来ていた  
ので、これまでと同じことを自分でやろうとして、転倒したりする場面が連続して出てくると思われる。
- ・今回、初めてヒヤリハットの発生時期を月別に分析したが、これを毎年継続して分析  
してみて、同じ時期に集中するようであれば、そこに何らかの要因があると思われる。

## V. その他

### 1. 今後の予定

#### (1) 令和7年度見学会の開催予定について

- ・年に1回、開催する必要がある見学会については、令和7年10月22日（水）の14：30～15：30に、HARUとの合同見学会として、この希望の家において開催を予定している。
- ・当日は、3施設の交流会として、この希望の家に各施設の利用者が集まってレクリエーションを行う予定であり、それも見学して頂きたいと考えているので、是非ともご出席をお願いしたい。

#### 【閉会】

施設としては、これからも利用者のケガや事故が起こらないことを第一に考えながら施設運営を行っていきたいので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

——— 地域連携推進会議 終了 ———